

文教福祉常任委員会記録

令和5年1月26日(木) 午前9時57分～午前10時11分（9階909会議室）

○出席委員（8名）

委員長	白川 敏明
副委員長	川又 康彦
委員	山田 裕
委員	高木 直人
委員	佐原 真紀
委員	石山 波恵
委員	鈴木 正実
委員	羽田 房男

○欠席委員（1名）

委員	山岸 清
----	------

○案 件

所管事務調査 児童虐待防止への取組に関する調査

- (1) 委員長報告のまとめについて
- (2) その他

午前9時57分 開 議

(白川敏明委員長) ただいまから文教福祉常任委員会を開会いたします。

本日、山岸委員より欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

初めに、委員長報告のまとめについてを議題といたします。

前回の委員会において皆様からいただいたご意見を踏まえ、正副委員長手元で委員長報告の案を修正いたしました。タブレットに修正後の案と前回からの変更点を見え消しにした案をお配りしております。それでは、修正内容についてご説明いたしますので、見え消しの案をご覧ください。

それでは、修正内容の概要についてご説明いたします。主な修正点に吹き出しを入れており、その部分をご説明いたします。なお、軽微な修正部分は黄色く色がついております。

まず、1点目が①として、2ページ1、2行目、児童虐待防止に関する法律を正式名称の児童虐待防止等に関する法律に修正し、全国の児童相談所の相談対応件数の確定値が1月現在公表されたので、

修正いたしました。

②として、2ページ20行目、虐待につながりやすいケースとしてというふうに、重いをつながりやすいに修正しました。

③、2ページ23、24行目、全数面接を産婦には行っていないため、産を削除し、専門職によるものであることを強調するため、保健師、助産師等専門職によるを追加いたします。

次に、④、3ページ4、5行目、字数調整のために、構成機関である児童相談所、警察、学校、保育所などと、庁内のこども未来部、教育委員会、健康福祉部とが連携して情報を共有という具合に、文章を修正いたしました。

⑤として、3ページ11から13行目、虐待防止月間を正式名称の虐待防止推進月間に修正し、文章を修正いたしました。

⑥として、3ページ22、23行目、こども家庭庁の公表資料の表現を基に、制度や組織による縦割りの壁や年齢の壁を追加いたしました。

⑦7ページ10、11行目、CAP、OJTにそれぞれの専門用語の説明を追加いたしました。

⑧、7ページ17、18行目、充実を拡充に修正し、重複する表現を削除いたしました。

⑨、8ページ9行目から11行目、西東京市の事例を参考に、子供本人からの相談窓口の冊子を追加し、文章を修正いたしました。

⑩、8ページ18から21行目、難しいためを困難なものでありますがに修正し、家庭へ訪問しやすくするなどを家庭への接触などのに修正。

⑪、9ページ8から10行目、子供や家庭からの相談を待つのではなく、と虐待が重篤化する前に、を入替えし、文章を修正いたしました。

⑫、9ページ11から13行目、子育てポータルサイトを追加し、文章を修正いたしました。

⑬、9ページ16、17行目、子供本人への支援ということを強調するため、子供本人を追加いたしました。

以上が前回からの修正内容の概要であります。ここで今から5分程度委員の皆様にご一読いただきまして、修正の案に対するご意見を頂戴したいと思います。

それでは、お願いいたします。

【資料黙読】

(白川敏明委員長) それでは、修正後の委員長報告案に対してご意見をいただきたいと思っております。何かございませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) なければ、ただいまの委員長報告案につきまして各派内での調整をお願いしたいと思います。

そういたしまして、次回の委員会において会派内調整の結果を会派ごとにご報告いただくことでよ

ろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) 次に、その他といたしまして、委員の皆様から何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) なければ、以上で文教福祉常任委員会を閉会いたします。

午前10時11分 散 会

文教福祉常任委員長

白 川 敏 明